

# アテンダ

**HATCH BACK** 1300  
1500



**SALOON** 1300-1500



個性あざやかに。品質のマツダ

**MAZDA**

# FAMILIA HATCHBACK

キビキビとした走り。FFの利点を生かしきった広さ、クラス最高レベルの低燃費。  
いまやトータルバランスのよさでFF時代をリードする、ファミリアハッチバック。

走り、広さ、燃費…。現代のクルマに求められるすべての能力を高い次元で  
まとめ上げた、ファミリアハッチバック。その総合性能とポテンシャルは、[80-81  
日本カー・オブ・ザ・イヤー]受賞、[ヨーロッパ・カー・オブ・ザ・イヤー]総合  
4位(日本車中1位)などで、国内外から高い評価を受けています。[日本機械  
学会賞]を獲得した効率のよいE型エンジン、卓越した走りをもせるSSサス  
ベンション、ゆとりを演出するクラス最大のワイドトレッドなどなど。いまファミリア  
ハッチバックはトータルバランスで、ファミリーカーの新しい基準になった。





●1300XT 3H77

●1500XT 3H77  
ツインカム1600cc

●1500TG ツインカム1500cc



●1500XG

クルマ作りにFFだから、という言い訳を許さなかったファミリアハッチバック。いままでのFFにつきものだった、タックインをはじめやわらかなシフト感、左にオフセットされがらだったペダルレイアウトなどの欠点を、こことく解消したクルマです。そのスポーティな走り、群を抜くゆりの室内空間、経済的なランニングコストが、ファミリアの真価を何より雄弁に物語っています。クルマ本来の魅力で評価されているファミリア、FFのメリットを生かした実力で、独走。

クラス最大のワイドトレッドがもたらす、ゆとりのショルダー룸。  
6段階に調節できるリアクライニングシート。後席でも無理なく  
長距離ドライブの楽しめる工夫がファミリアのキャパシティをより大きなものにしている。



クラス初のフルフラットシートで、行動範囲も  
グーンと拡大。

広いファミリアの室内をさらに効果的に生かす  
フルフラットシートが、ファミリアにレジャービーク  
ルの資質を与えています。フロントシートのヘッド  
レストを取りはずし、リクライニングさせるだけで  
背もたれがリアシートと一体になり、大人がラク  
に休めるフラットなスペースをつくり出しています。  
仮眠をとりたい早朝の釣りなど、アウトスポー  
ツの味方として注目を集めているファミリアなら  
はの装備、1500XG・XLに設定されています。

体にフィットして疲れない。運転しやすいコク  
ビットが好評です。

ドライバーズシートには速度に合わせて、体をホ  
ールドする高弾性ウレタンを使用。さらにファミリア  
はドライバーの腰を支え、疲労をやわらげる効  
果のあるランバーサポート(1500XG)を装着し  
ています。また体型にあわせて上下に調整できる  
チルトステアリング(XT以上)があらゆる  
ドライバーに最適なドライビングポ  
ジションを提供。長時間のドライブを  
気軽なものにしています。人間工学  
の条件を満し、いつでも無理の  
ない姿勢が保てるファミリア、レ  
ジャードライブからスポーツ  
走行まで、常にリラックスし  
て運転をお楽しみいただ  
けます。



後席だからという妥協はない(1500XG・XL)  
6段階に調節できるリアクライニングシート

ヘッドクリアランス、ニールーム、肩まわりの空  
間は、ともに余裕たっぷり。広く明るいウインド  
ーが、ファミリアの開放感にあふれた後席を演  
出します。リアシートはワンタッチ操作で、前2段  
階、後4段階にリクライニング。自由な姿勢で  
ゆったりとくつろぎます。これまでのハッチバック  
に見られた後席の窮屈さは、もう感じません。



ワイドトレッドを生かしきって後席の雰囲気  
を一新/ラウンジソファシート。(1500XG)  
クラス最大のワイドトレッドを生かし、ドアトリム  
からリアシートまでを一体にアレンジしたファミ  
リアのラウンジソファシート。このクラスでは

例のない豪華な室内空間を演出しています。  
特に後席は、リビングにいなからドライブする  
感じです。左右のドアから連続したアームレス  
トなど、機能性を考慮したデザイン。ファミリア  
ならではの合理的な設計が人気を集めています。



5ドア全車種にチャイルドブローフを標準装備。  
ファミリアは、なんといってもお子さまを乗せるこ  
との多いファミリーカー。お子さまの安全を守る  
チャイルドブローフは欠かせない装備です。ファミ  
リアの5ドアは専用のノブで一度ロックす  
る内側からはドアが開かない仕組み。たと  
うに、わんぱく盛りのお子さまがドアハンドルに  
触れても、不用意にドアが開かず安心して

春夏秋冬。クリーンな空気に包まれてドライブ  
できる空調システム。

爽やかなクルージングがエンジョイできるファミ  
リアのベンチレーションは、3段階のファン  
による強制換気と自然風の導入ができるメカ  
ニズム。フレッシュエアが思いのままに得られ  
ます。後席のためのリアヒーターダクト(1500XG  
・XL)を持つヒーターは自由に温度調節ので  
きるエアミックスタイプ。もちろんレバーひとつ  
で頭寒足熱の暖房ができるバイレベル方式で  
す。さらにダッシュパネル内に組込めるエアコン  
(オプション)は、冷房はもちろん除湿暖房もでき  
一年中快適なエアコンデションを実現します。  
特に梅雨時などは視界を妨げるウインドーの  
曇りを素早く一掃。安全運転にも効果的です。



分割可倒式リアシートとデュアルボックスカーゴルーム。

ファミリアのユーティリティはビッグなダブルス。

ハッチを上げると広いカーゴルーム。ボードを上げると、さらにその下にもカーゴスペースが現われます。床下をスペアタイヤだけに占領させておく手はない。そんなアイデアが、ファミリアにデュアルボックスカーゴルームを実現したのです。この他にもツールポケットをはじめ、2ウェイパッケージトレイ(1500XG・XL)など、ファミリアには多目的に使いこなせる収納スペースが充実しています。従来のFFにない余裕と機能が、ファミリアをパワーアップ。



●5人+カーゴスペース 多様化するドライブ旅行。途中経過までたっぷり楽しんでやろう、という方もファミリアなら安心です。ご家族やお仲間がゆったり乗れる上に、荷物もしっかり収納。スムーズな旅行をお約束します。



●3人+カーゴスペース ゴルフ、テニス、釣りなど目的に応じて人数や道具が変わる場合、一台のクルマをいく通りにも使いたいものです。そんな時分割可倒式リアシート(XCを除く)なら、多様なニーズにお応えできます。



●2人+カーゴスペース 誰もがひとつやふたつのスポーツを楽しむ週末。ベアでジョギング、水泳、テニスなど多彩なスポーツを楽しむために便利なのが、ワンタッチで広がるカーゴルーム。沢山の用具も無理なく収納できます。



●1500XG(アルミホイールはオプション)

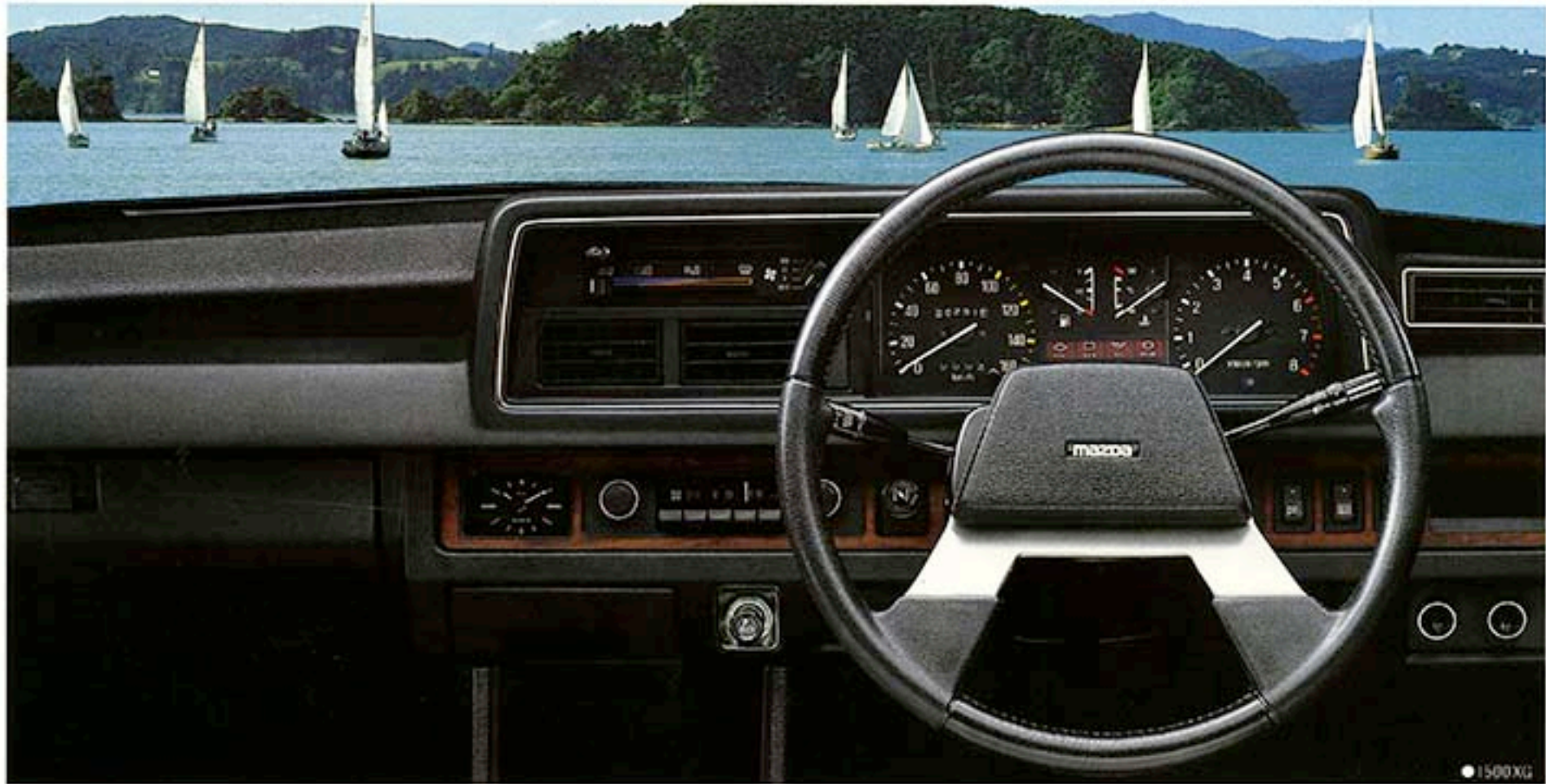
床下に収納スペースを隠したFFハッチバック。  
ファミリアのデュアルボックスカーゴルーム。

同じFF、同じハッチバックでも床下のスペースを利用するのと、しないのでは大きな差がでるはずだ。こんな小さなヒントから、ファミリアは従来のFFではスペアタイヤの収納場所にすぎなかった床下スペースを、再発見。ハッチバックボディに新しい収納スペースを実現しています。広いカーゴルームのボードを上げると、その下にもカーゴルームが現われる2重底設計です。床下は、まさにトランク。ワックスなどのカー用品などがきちんとしまえます。広さと使いやすさで群を抜くファミリアのデュアルボックスカーゴルーム。クルマに詳しい多くのドライバーから、FFの利点を生かした設計だと、高く評価されています。

ただ広いだけでなく、真に使い込めるアイデアが  
クルマを面白くする。

コンパクトでスペースをとらないエンジンを作り、それを横置にする。さらにミッションやデフもフロントにまとめてしまう。こうすると残されたスペースは、すべて人間と荷物のために使うことができます。FRのようにスペースをとるデフやドライブシャフトが不要な分だけ、FFはクルマの持つ空間が有効に使えるのです。特にファミリアのようにクラス最大のワイドトレッドと、長いホイールベースが確保されている場合は、いまでもありません。FFならではのメリットを生かした有彩、無彩のプラスアルファを持つファミリアの多彩なユーティリティ。その使いやすさと便利さは、いままでのFFに一步も二歩も先んじた存在です。

すべてが走りアピールしてる。ファミリアの能力をフルに引き出す、コクピット。



ハッチバックは全11機種14タイプ。XGに3速フルオートマチック車も新登場。



■主要諸元表

( )内数値はスライディングサンルーフ車

エンジン	1300						1500							
	E-80(83)						E-80(85)							
型式	3ドア			5ドア			3ドア			5ドア				
ボディタイプ	3ドア			5ドア			3ドア			5ドア				
機種名	XC	XT	XL	XC	XT	XL	XT	XL	XG	XT	XL			
運転タイプ	4速マニュアル	3速マニュアル	4速マニュアル	3速マニュアル	3速オートマチック	3速マニュアル	3速マニュアル	3速マニュアル	3速オートマチック	3速マニュアル	3速オートマチック			
●寸法・重量														
全長	3955						3955							
全幅	1630						1630							
全高	1375						1375							
室内長	1705						1705							
室内幅	1320			1320			1310			1320				
室内高	1150			1150			1150(1115)			1150(1115)				
ホイールベース	2365						2365							
トレッド(前)	1390						1390							
トレッド(後)	1395						1395							
最低地上高	150						150							
車両重量	765	775	780	780	790	795	800	800(813)	790(809)	810(825)	805(820)	815	815(830)	805(820)
乗車定員	5						5							
●性能														
最小回転半径	4.6						4.6							
登坂能力	0.44						0.56							
10モード燃費(運輸省燃費値)	17.0						13.0							
40km/h定地燃費(運輸省燃費値)	25.0						27.0							
エンジン	E3・水冷直列4気筒OHV						E5・水冷直列4気筒OHV							
総排気量	1296						1490							
内径×行程	77×69.6						77×80							
最高出力	74/5500						85/5500							
最大トルク	10.5/3500						12.3/3500							
キャブレター	2ステージ2バルブ						2ステージ2バルブ							

■主要装備表

▲装着も設定

装備仕様	機種	1300						1500					
		3ドア			5ドア			3ドア			5ドア		
		XC	XT	XL	XC	XT	XL	XT	XL	XG	XT	XL	
チルトステアリング		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
AMラジオ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ワーニング	燃料残量ランプ			●									
	ストップランプ断電ランプ			●									
熱線プリント式リアデフォグ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
リモコンフェンダーミラー										●			
ワイパー	ブラックアウトワイパー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	ワンタッチ式ワイパー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	間欠式ワイパー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
フロントシート	ヘッドレスト分離式	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	ランバーサポート									●			
フルフラットシート										●			
分割可倒式リアシート		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
スライディングサンルーフ	手動式									▲		▲	
	電動式										▲		
リアゲートオープナー		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
チャイルドブルー				●							●		
フィットレスト										●			
ELR式シートベルト		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
エアリックス式ヒーター		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
リアヒーターダクト				●						●			
サイドシルピッチ塗装										●			
埋め込み式ビラーアンテナ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
デュアルボックスカーゴルーム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
カーゴルームランプ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ツールボックス		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

●本誌には十分な実証がなされています。●付録にシリアルナンバー・標準工賃一式●燃料消費率は定められた試験条件のときの値です。実際の走行時の気象・道路・車種・運転・整備などの条件により異なります。●燃費測定車種により40km/h定地燃費が異なります。

ファミリアのクオリティを実証する  
充実の装備ラインアップ。



リモコンフェンダーミラー フェンダーミラーの角度が運転席で自由に調節でき、雨の日の後方視界の確保に効果的な装備です。(XG)



スライディングサンルーフ XGはボタンひとつで操作できる、開放感いっぱいの電動式スライディングサンルーフを採用(※装着車も設定)



ハロゲンランプ 明るく、ほぼ白色に近い光が道の暗闇をまぶすように照らします。配光特性のよさによって、対向車の視界も妨げません。(XG)



リアコンビネーションランプ 大型かつ鮮やかなコンビネーションランプです。リアをワザに印象づけ、夜間、後続車からの視認性もアップと高まります。



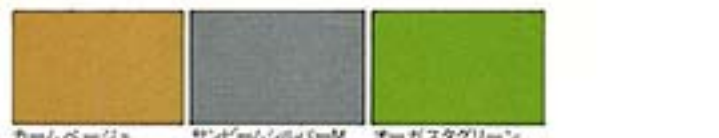
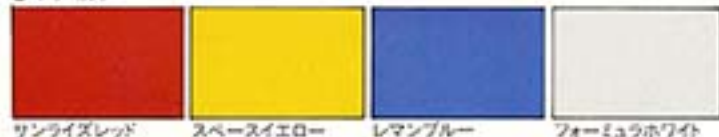
リアウィンドウワイパー 雨天時の安全性を考慮、後方視界を確実に確保するリアウィンドウワイパーと、ウォッシャーを装備。(XCを除く)



リアゲートオープナー 運転席に居ながらリアゲートを開けられます。操作は、運転席右下のスイッチを動かすだけの容易。(XCを除く)

BODY COLOR & SEAT COLOR

●ボディカラー



●シートカラー



●ボディカラーとシートカラーの組合せ

ボディカラー	サンライズレッド	スペースイエロー	レマンブルー	フォーミュラホワイト	カームベージュ	サンビームシルバーM	オーガスタグリーン
XC	(A)	(A)	(A)	(A)	(A)	(A)	(A)
XT	(B)	(B)	(C)	(C)	(B)	(C)	(B)
XL	(B)	(B)	(C)	(C)	(B)	(C)	(B)
XG	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)	(D)

●撮影は本誌制作時に、ボディカラーとシートカラーが異なる色で見せられて見ることがありますが、同じカラー・パターンに統一されています。

# FAMILIA SALOON

FFセダンの時代を拓いて、快走。ファミリアサルーン



従来のセダンとは一線を画す、FFの合理性を持ったファミリアサルーン。

'80-'81日本カー・オブ・ザ・イヤーを受賞したハッチバックから

基本メカニズムを受け継いだクルマです。

洗練されたフォルムとアダルトな雰囲気が漂うFFサルーン。

FF2ボックスカーの機能性に共感を覚えながらも

4ドアの落ち着いたクルマを必要とする

多くのドライバーから高く評価されています。



FF2ボックスカーの合理性を4ドアボディに包み込んだファミリアサルーン

ドライブシャフトやリアにデフのない利点を生かしきり

FRには真似のできない多彩なユーティリティを手に入れています。

例えば荷物の形や量に応じて使い込める2重底のトランクや4ウェイシート(1500XE・XL)

フロントシートの背もたれとリアシートが一体になるフルフラットシート(1500XE・XL)など

ハッチバックの機能をそっくり備えた実力車です。

ファミリーカーにFFサルーンのジャンルを確立したクルマ、ファミリアサルーン



室内とトランクルームの連携プレーを可能にした4ウェイシート。

トランクルームが多様に使える2重底設計。

ファミリアサルーンは4ドアボディにハッチバックのユーティリティをそっくり隠したクルマです。



**FFサルーンの広さを生かすスペース。  
クラス初のフルフラットシート(1500XE・XL)**

クラス最大のワイドトレッドを誇るファミリアの室内。その広さをさらに多彩に演出するのが、新採用のフルフラットシートです。フロントシートのヘッドレストを取りはずし、背もたれをリクライニング。リアシートの座面に合わせるとフラッ

トなスペースが現われます。大人がラクに横になれるユーティリティは、そのアイデアもさることながら真に使い込める実力の持主です。コンパクトでクリーンな4ドアボディに、ゆったり足を伸ばしてくつろげるスペースを確保したファミリアサルーン。長距離ドライブにうれしいゆとりを提供、ファミリーカーの領域を拡大しています。

**トランクと室内を親密な関係にする  
4ウェイシート。(1500XE・XL)**

FFハッチバックのあの広く、使いやすいユーティリティを4ドアボディに再現できないか。この命題をファミリアサルーンは、トランクと室内を一体化する分割可倒式の4ウェイシートで解決しました。6:4の割合で、分割して倒すことで

このリアシートが、FF2ボックスカー顔負けのスペースユーティリティを実現しています。もちろんリアシート全体を倒すことも可能です。ハッチバックの便利さをトランクと室内の連携プレーで生み出すファミリアサルーン。コンパクトでスタイリッシュな4ドアボディから想像もできないパフォーマンスでライバルを一步も二歩もリードしています。



- 4ウェイシート(5人乗り)  
広いトランクルームの中に、荷物をスッキリ収納すれば、後座には3人がラクにすわれます。オーソドックスなサルーン感覚にあふれたリアシートです。
- 4ウェイシート(3人乗り)  
トランクに入りきらない長尺物を積みたい時は、6:4の割合で分割できるシート的一方を倒して問題解決。もちろん、荷物の脇に1人分のスペースを確保しています。
- 4ウェイシート(2人乗り)  
後座とトランクを一体の荷物スペースにする時は、両方のシートバックを前方へ倒します。サルーンの外観から想像できないスペースユーティリティの出現です。

床下が使えるFFのメリットがトランクを革新!

リアにデフのないFF方式の利点を生かして、トランクの下にも収納スペースを確保しているファミリア。この2重底(1500XE・XL)になったスペースを活用することで、乱雑になりがちなカー用品や工具などがスッキリ収納できます。さらにボード(1500XE・XL)を折りたたみ、スペアタイヤをたてて収納すれば、ポリタンクなどの背の高い荷物を積むことも可能です。このクラスからめ深く使い勝手の良いトランクです。この他、トランクルームの両側には小物の納まるサイドボックスや工具の納まるツールポケットを装備するなど、ファミリアのトランクは、荷物の大きさやカタチに合わせて十二分に使い込める機能を備えています。



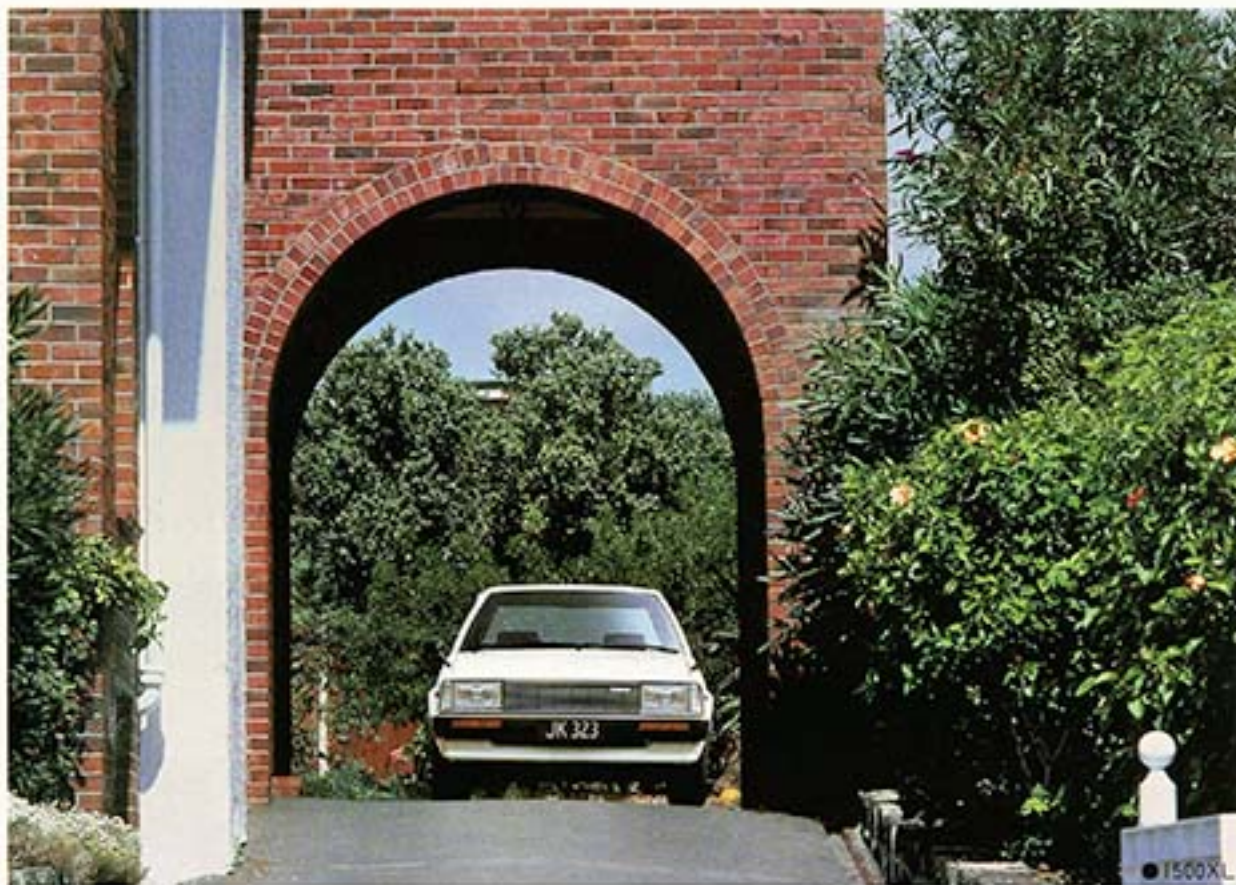
●2重底設計のトランクルーム。あのハッチバックと同じで、便利さひとびわです。



●ボードをあければ、その下にもビッグなスペース。カー用品などがたっぷり入ります。

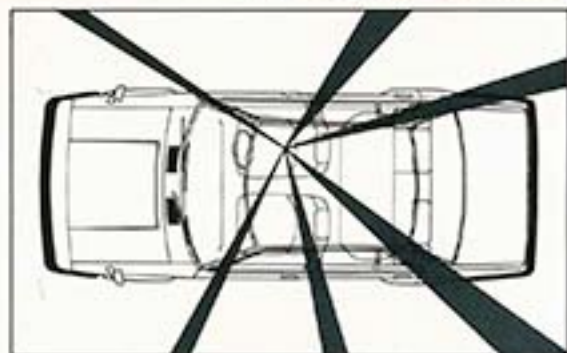


●ボードをたたんでスペアタイヤをたてれば、背の高い荷物などもムリなく納まります。



●1500XL

予防安全に対する配慮はドライバーにもクルマにも欠かせない。安全は残念なことにお金で手に入れることのできないもののひとつ。しかし最大限の努力は、忘れたくないものです。ファミリアも安全対策に関しては、無事これ名馬を目標に数々の工夫を重ねています。例えばブレーキのX配管などもそのひとつ。でも乗る人の協力なしに実力を発揮できないのがELR式シートベルトです。通常は自由に身体を動かすことができ、緊急時にのみロックされるこの装備、ファミリアは全車種に採用しています。また、後席に乗る機会が多いお子さまの安全性を考え、これもまた全車種にチャイルドブローフを採用。専用のノブで一度ロックするだけで、内側からドアを開かなくても、腕白諸君には申し訳ないが、こらばぬ先のツエ、いずれも信頼性が高く安全第一を優先した実質的な装備、大いに利用して楽しいドライブをより安全なものにするよう心がけたいものです。



ワイドなガラス面積が快適さ、バックアップ。

ドライバーズシートから周囲をグルリと見渡して、視角314.3°。もちろんどの座席にすわっても十分な視界が得られます。低くおさえられたダッシュパネルやベルトラインに加え、細目のピラーがワイドなガラス面積を確保。ご家族やグループでお出掛けの場合にも、開放感あふれるドライブが楽しめます。

ファミリアをサニー・サイドサルーンにするサンルーフ。

青空を感じながら、オゾンを吸いながら爽快なクルージングの楽しめるスライディングサンルーフ(1500XEは電動式、1500XLは手動式、共に装着車を設定)。海へ、山へアクティブなドライブを応援します。明るい日差しを浴びながらのオープン・エア・ドライブ、お子さまの大きな支持を受けることうけあいで、

ステアリングを手にした瞬間から、愛着のわく予感。操作フィーリングのよいファミリア。



1500XE(カーコンゾはオプション)

ノッチバックは全7機種9タイプ。  
1500XE・XLは  
フルフラットシートを新採用。

1300XL



1500XE



1300XT



1500XL



1300XC



1500XT



1300XC SPECIAL



■主要諸元表

( )内はスライディングサンルーフ車

エンジン	1300					1500			
	E-BD1031					E-BD1051			
型式	XC SPECIAL	XC	XT	XL	XT	XL	XE		
機種名	4速フロアマニユアル	4速フロアマニユアル	4速フロアマニユアル	4速フロアマニユアル	4速フロアオートマチック	4速フロアオートマチック	4速フロアマニユアル	4速フロアマニユアル	
運転タイプ	4速フロアマニユアル	4速フロアマニユアル	4速フロアマニユアル	4速フロアマニユアル	4速フロアオートマチック	4速フロアオートマチック	4速フロアマニユアル	4速フロアマニユアル	
●寸法・重量									
全長	mm 4155					mm 4155			
全幅	mm 1630					mm 1630			
全高	mm 1375					mm 1375			
室内長	mm 1750					mm 1750			
室内幅	mm 1320					mm 1320			
室内高	mm 1150					mm 1150	mm 1150(1115)		
ホイールベース	mm 2365					mm 2365			
トレッド(前)	mm 1390					mm 1390			
トレッド(後)	mm 1395					mm 1395			
最低地上高	mm 150					mm 150			
車両重量	kg 790	kg 795	kg 800	kg 820	kg 820(835)	kg 810(825)	kg 825(840)	kg 815(830)	
乗車定員	名 5					名 5			
●性能									
最小回転半径	m 4.6					m 4.6			
加速能力	km/h					km/h	km/h	km/h	km/h
100m加速(0-100km/h)	sec 17.0					sec 13.0	sec 16.5	sec 13.0	sec 16.5
50m加速(0-50km/h)	sec 25.0					sec 27.0	sec 20.0	sec 27.0	sec 20.0
●エンジン									
エンジン型式および種類	E3・水冷直列4気筒OHC					E5・水冷直列4気筒OHC			
総排気量	cc 1296					cc 1490			
内径×行程	mm 77.0×69.6					mm 77.0×80.0			
最高出力	ps/rpm 74/5500					ps/rpm 85/5500			
最大トルク	kg-m/rpm 10.5/3500					kg-m/rpm 12.3/3500			
燃料供給装置	2ステージ2バレル式キャブレター					2ステージ2バレル式キャブレター			

■主要装備表

▲装着車も設定

装備仕様	機種	1300				1500		
		XC SPECIAL	XC	XT	XL	XT	XL	XE
チルトステアリング				●	●	●	●	
AMラジオ		●	●	●	●	●	●	
ワーニング	燃料残量ランプ				●	●	●	
	ストップランプ断電ランプ				●	●	●	
熱線プリントリアデフォグ		●	●	●	●	●	●	
リモコンフェンダーミラー							●	
ワイパー	ブラックアウトワイパー	●	●	●	●	●	●	
	ワンタッチ式ワイパー	●	●	●	●	●	●	
	開文式ワイパー			●	●	●	●	
フロントシート	ヘッドレスト分離式	●	●	●	●	●	●	
	ランバーサポート						●	
木目付フルコンソールボックス						●	●	
フルフラットシート						●	●	
4ウェイシート						●	●	
スライディングサンルーフ	電動式						▲	
	手動式						▲	
トランクオープナー			●	●	●	●	●	
チャイルドブルーフ	●	●	●	●	●	●	●	
フットレスト						●	●	
ELR式シートベルト	●	●	●	●	●	●	●	
エアミックス式ヒーター	●	●	●	●	●	●	●	
リアヒーターダクト					●	●	●	
サイドシルビッチ塗装					●	●	●	
埋め込み式ビラーアンテナ	●	●	●	●	●	●	●	
ピンストライプ							●	
デュアルボックストランクルーム						●	●	
2ウェイスベアタイヤ収納	●	●	●	●	●	●	●	
トランクサイドボックス	●	●	●	●	●	●	●	
ISSPRI 3スチールラジアルタイヤ	●						●	

●本仕様は予告なく変更することがあります。●付属品: スベアタイヤ・標準工具一式 ●燃料消費率は定められた試験条件の値です。実際の走行時の状況・道路・車載・乗員・積荷などの条件により異なりますので、それに従って燃料消費率が異なります。

洗練されたデザインが  
機能を物語る充実の装備。



リモコンフェンダーミラー フェンダーミラーの角度が運転状態で自由に調節でき、雨の日の後方視界の確保に効果的な装備です。(XE)



スライディングサンルーフ 開口部のワイドなスライディングサンルーフ。1500XEは電動式(写真)、1300XLは手動式。どちらも装着率を設定しています。



クリスタルカットの角型ヘッドランプ フロントマスクをシャープに印象づけます。グリルと統一した面デザインされガラス面の美しさが特長です。



リアコンビネーションランプ 大型かつ斬新なコンビネーションランプです。リアをワイドに印象づけ、後続ドライバーの視認性と注目度を高めます。



ナットスタアパング 上下30mm幅で調節可能。乗る人の体格や好みに応じて、いつも最適なドライブポジションが保てる装備です。(XT以上)



デジタルウォッチ 水晶発振式の高精度のデジタル時計です。走行中でも、ひと目で時刻の確認ができます。15MIN.時刻合わせも簡単。(XE)

BODY COLOR & SEAT COLOR

●ボディカラー



●シートカラー



●ボディカラーとシートカラーの組合せ

ボディカラー	ルネッサンスレッドM	サンビームシルバーM	フォーミュラホワイト	カームベージュ	シシリーブラウンM	スターダストブルーM
XC SPECIAL	(A)	(A)	(A)	(A)	(A)	
XC	(A)	(A)	(A)	(A)	(A)	
XT	(B)	(C)	(C)	(B)	(B)	(C)
XL	(D)	(E)	(E)	(D)	(D)	(E)
XE	(F)	(G)	(G)	(F)	(F)	(G)

●撮影・印刷条件により、ボディカラーおよび内装色が写真と異なって見えることがあります。詳しくはディーラーにおたずねください。

「日本機械学会賞」を受賞したファミリアのE型エンジン。  
 最大効率を求めて機械抵抗を10%軽減した成果が、ファミリアのパワフルな走りと  
 クラス最高レベルの低燃費を実現している。

エネルギー効率の追求で、必要にして十分な  
 パワーと納得のゆく低燃費を両立させたファミ  
 リアのE型エンジン。

シャープなエンジンレスポンス。ここにマツダ安  
 定燃焼方式を採用したE型エンジンのすべて  
 が凝縮されています。ショートストロークの1300cc  
 とスクエアタイプの1500cc。いずれも中低速域  
 のトルクが大きく、高速域までスムーズに伸びる  
 フレキシビリティのよさが自慢です。日本カー・オ  
 プ・ザ・イヤーでも評価された燃費がよく、必要  
 にして十分なパワーのあるファミリアのE型エン  
 ジン。このように少ない燃料で大きな仕事をする  
 理想的なエンジンを完成させるためには、燃焼  
 効率を高めることがなにより重要なポイントにな  
 ります。一般的に燃焼効率をよくなるためにはシ  
 リンダーヘッドの形状を工夫したり、圧縮比を  
 上げ、混合気を限りなく完全燃焼に近づけるこ  
 とが必要です。また熱としてラジエーターなどから

失われるエネルギー、摩擦による機械抵抗  
 をどれだけ軽減できるかも大きな意味を持っ  
 ています。熱として失われるエネルギー、熱損失  
 を少なくするためには暖まりやすく、エンジンを必  
 要以上に冷やさない冷却方式の採用。摩擦に  
 よる機械抵抗を小さくするには、ベアリングや  
 バルブ機構の抵抗軽減がものをいいます。もち  
 ろんエンジン自体の軽量化による効率アップ  
 もクルマ、トータルとして考えた場合見逃せない  
 省エネ対策です。では具体的にメカニズムの  
 紹介をしましょう…。ファミリアのE型エンジン。  
**エンジン内部の機械抵抗を軽減**  
**(エネルギー効率の追求、ステップ1)**  
 E型エンジンは吸排気バルブをコントロール  
 するバルブスプリングをシングル化(通常のダ  
 ブルスプリングより抵抗が小さい)。さらにベアリン  
 グの改良などを同時に実施、機械抵抗の大幅な  
 低減を実現しています。

10モード燃費・マニュアルミッション車(運輸省審査値)

**17.0** km/l

E3型・1300cc OHC  
 最高出力：74ps/5500rpm  
 最大トルク：10.5kg-m/3500rpm

エンジンの小型軽量化で、性能と燃費を向上  
**(エネルギー効率の追求、ステップ2)**  
 エンジンの前後長が70mm、幅は70mm、高さも  
 15mm従来よりコンパクトなファミリアのE型エン

10モード燃費・マニュアルミッション車(運輸省審査値)

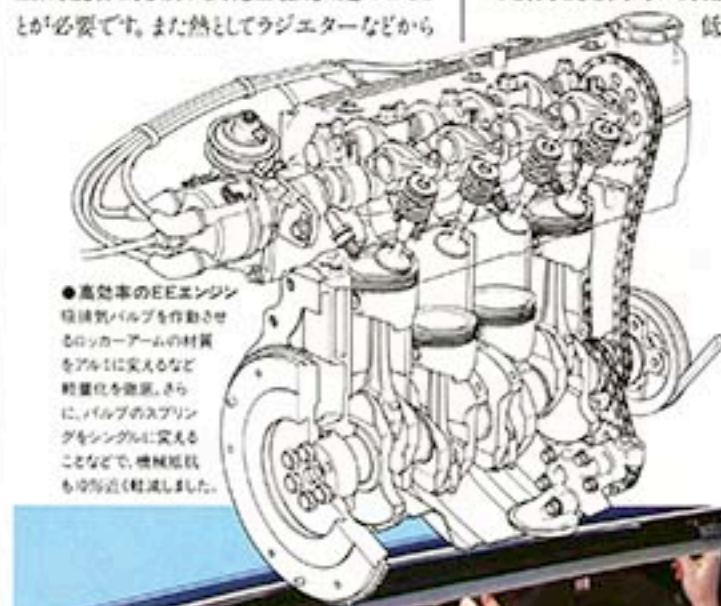
**16.5** km/l

E5型・1500cc OHC  
 最高出力：85ps/5500rpm  
 最大トルク：12.3kg-m/3500rpm

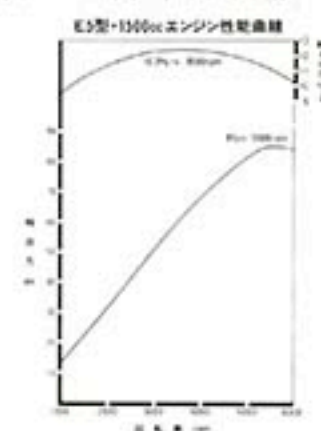
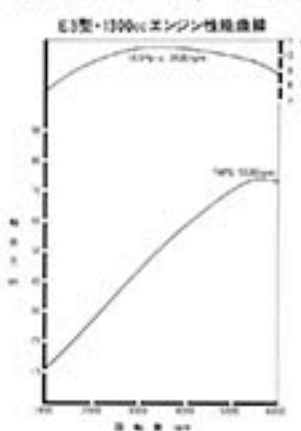
ジン。機械抵抗を小さくするために採用されたア  
 ルミ合金製のロッカーアームとシングルスプリ  
 ングによる軽量化、約1kgを含め全体で約10kgも  
 従来のもより軽くなっています。

**ムダな冷却をカット、熱損失を減少**  
**(エネルギー効率の追求、ステップ3)**

ファミリアのE型エンジンは、シリンダーブロッ  
 クの温度分布を徹底的にチェック。冷却の必  
 要ない部分は、冷やさないようにしました。この  
 結果、シリンダーブロック内の冷却水量を従  
 来のものより、約13%少なくすることに成功。また  
 ラジエーターにはサーモスタット付の電動ファン  
 を採用することで、エネルギーのロスを防いで  
 います。エンジンの冷えすぎによる燃焼効率の  
 低下を未然に防止すると共に、ウォーミングア  
 ヱップの時間まで短縮している合理的なファミリア。



●高効率のE型エンジン  
 吸排気バルブを自動させ  
 るロッカーアームの材質  
 をアルミに変えるなど  
 軽量化を徹底。さら  
 に、バルブのスプリ  
 ングをシングルに変える  
 ことなどで、機械抵抗  
 も10%近く軽減しました。



サルーン ● 1500XE (サルーン仕様車)

運転のやさしさ、極めつき。3速フルオートマチック。

いまや日本で売られている乗用車の4台に1台  
 は、オートマチック車です。運転はラクな方がい  
 い。走る道具なら便利な方がいい。このような考え  
 でオートマチックを選ぶドライバーが増えている  
 ようです。本格的な3速フルオートマチックが選  
 べるファミリア。オートマチック車の水準を越える  
 キビキビとした走りっぷりが、注目を浴びてい  
 ます。E型エンジンとベストなマッチングをみせ  
 る3速フルオートマチック。走りに定評あるファミ  
 リアの実力が、誰にでもフルに引き出せます。  
 タウン走行の機敏さはもとより、キックダウン  
 操作で瞬発力のある追越しにも余裕ある加  
 速を実現しています。また車庫入れ、縦列駐車  
 時などでステアリング操作に集中できるのも大  
 きなメリットです。もちろん低燃費で、経済的な配  
 慮十分。世の女性ドライバーをグッとさせるの  
 にふさわしい魅力的な3速フルオートマチックです。



スムーズな発進。  
 スピーディな加速  
 そして低燃費。  
 静粛性、便利さも大きく前進。  
 さあ、2ペダルでらくらくドライブ。

# キックバックの少ないファミリアのラック&ピニオン方式ステアリング。 卓越したSSサスペンション。ファミリア独創のメカニズムが、機敏な操縦性と 快適な乗心地を両立させている。

FFに卓越した走りの世界を持ち込んだ。  
ファミリアの4輪独立懸架サスペンション。

操縦性と走行性を高いレベルで両立しているファミリア。その直進安定性と抜群のコーナリング性能は、リアのSSサスペンションとA型ロアアームを持つストラット式フロントサスペンションによるものです。安全でしかも速い。評価される極めて完成度の高いファミリアのサスペンション。走りや乗心地を満足させたタフなメカニズムです。サスペンションの目的は、路面からのショックをボディに直接伝えないこと。しかし、それだけではありません。操縦性や安定性を向上させるために、さまざまな工夫が凝らされています。スプリング、ショックアブソーバー、支持アームそしてスタビライザーなど機能も役割も異なるパーツで構成されているのが、サスペンションなのです。例えば、ストラット方式サスペンション。この方式は、上下方向からのショックはコイルスプリングとショックアブソーバーで吸収します。また前後方向からの力と左右方向からの力にはロアアームで対応。構造がシンプルで、ボディ重量が軽くて乗心地もよいのでフロントに多く使われています。もちろんリアに使用した場合にもスペースが有効に利用でき、カーゴルームなどが広くとれるのもメリットです。またロアアームの形状を工夫することで、自由な操縦特性が得られることも特筆したいポイント。さて、ファミリアのサスペンションは、どうなっているのだろうか。

## ●SSサスペンションの概観



抜群の操縦安定性を持つファミリアのリアSSサスペンション。(卓越した走りの追求、ステップ1)

SS(Self Stabilizing・セルフスタビライジング)という名が示すように、クルマの進もうとする方向を常に安定して保つ特徴があるSSサスペンション。ストラット方式のリアサスペンションですが、ロアアームの設計が独特です。タイヤの位置を正確にするために2本のリンクを台形状にセットしています。このツインリンクが左下図のように変形することで、前から力を受けたタイヤが外側に開く「クワアフト」現象を打ち消すのです。この結果、タイヤはクルマの進行方向をキープし続けるので直進安定性やコーナリング性能が格段に向上します。また、このツインリンクを採用したことでサスペンション取付部分のラバーブッシュをやらねばならない。乗心地をも満足させているファミリア独創のリアSSサスペンションです。操縦安定性を高めるA型ロアアームを採用したストラット式前輪サスペンション。

## (卓越した走りの追求、ステップ2)

基本構造がシンプルで、剛性の高いサスペンションです。ボディ側に2つの支点を持つA型ロアアームを採用しているためタイヤの位置が正確にできます。またその剛性が高い分だけ、支点のラバーブッシュをやらねばならない。乗心地の向上にも貢献。さらにA型ロアアームのボディ側連結部の取付位置を工夫することで急制動時のノーズダイブを防ぐメリットを生んでいます。

制動時の直進安定性を保つ、ネガティブキャンバーオフセット。

## (卓越した走りの追求、ステップ3)

前輪に採用されたファミリアのバランスをより確かなものにするのが、-10mmに設定されたネガティブキャンバーオフセットです。図のようにサスペンションのキングピン軸の接地点をタイヤの接地点より外側にセット。こうすることで雨や雪などスリップしやすい路面状態でも安定した走行とブレーキを約束するシンプルなサスペンションジオメトリーです。



クイックで正確、しかもキックバックが少ないラック&ピニオン方式ステアリング

ステアリングを切った時の感覚がシャープでスポーティカーに用いられることの多いラック&ピニオン方式。特にコンパクトなので、エンジンルームを有効に使いたいFFには最適なギアボックスです。ファミリアの場合、ロックからロックまで3.6回転。効率のよいギア比で軽く操作でき、ドライバーの意志を前輪にスムーズに伝えます。また、ギアボックスのリンク取付位置を工夫して路面からの衝撃、キックバックを解消。ドライバーへの負担を軽減しています。さらにファミリアはクラス最大のワイドトレッドの利点を生かしたタイヤハウスと舵角を大きくとれる新聞発の等速ジョイントを用いることで回転半径の大きくなりかちなFFの欠点を克服しています。機敏な動きが要求されるタウン走行はもちろん。車庫入れや駐車時にも小回りがきき、とりまわりの楽なファミリアです。



よく止まるファミリアを支える実力のブレーキシステム。(卓越した走りの追求、ステップ4)

ファミリアのブレーキングシステムは、走りや上回る強力な存在です。高速走行でも余裕の放熱性と耐フェード性に優れたフロントディスクブレーキ。踏力を軽減する7インチ真空助力装置が、安定したきき味を実現します。さらにファミリアは万一の場合に備え、ブレーキの油圧回路を左前輪と右後輪、右前輪と左後輪という具合に2系統に分離独立。このX配管により片方の油圧回路に異常が発生した場合にも、ブレーキを確保。ファミリアの安全性を高めます。

## ●前輪ディスクブレーキ



FF経験者はもちろん未経験者にも好評。小気味よいファミリアのシフトフィーリング。

エンジンやミッションを搭載するFFは、その構造上ミッションとシフトレバーが離れているため手応えのないギアチェンジを余儀なくされてきました。ファミリアはミッションとシフトレバーを結ぶリンクを強化。FFらしからぬストロークの小さいシフトフィーリングを実現しています。FFだから、という言い訳を許さなかったファミリアの設計思想は、機能だけでなくドライバーの操作フィーリング向上にも及んでいるのです。ファミリアのマニュアルミッションは、4速・5速の2タイプ。いずれもカチッと決まる操作感が自慢です。スムーズなコーナリングを約束します。

## スタビライザー

1500XE・XL・XTのリアと1500XGのフロント(5速のみ)に装備。別名アンチローラーと呼ばれるようにスタビライザーは、ボディの傾き横ゆれを押える働きをするパーツ。特にコーナーでの安定性が増すので、ダート走行やワインディングロードなどのスポーティな走りや威力を発揮。ドライバーのテクニックに応えます。

# FF世界新記録



わずか27ヵ月、FFとしては世界最短記録で生産100万台達成。小型車の主流がFFになったいま、この事実はファミリアの質をよく物語ります。一時の流行に惑わされることのないクリーンなスタイル。ファミリーカーの平凡なイメージを超えた、アクティブな走りや広さ。胸のすく機能のひとつひとつが、世界各国・100万家族と握手したのです。好きなスポーツにつきあうように乗りこなしたい。スポーツごころのファミリア。

●本誌自工会発行・マツダ調べ。海外生産分。消費税率8%。2000cc以下。

## 第1回('80-'81)日本カー・オブ・ザ・イヤー

日本を代表する最優秀の新型車ただ1車に贈られるこの賞。ファミリアは新世代のFFとして、第1回目の受賞に輝いた。

## オーストラリア・カー・オブ・ザ・イヤー

オーストラリアを代表する自動車専門誌(ホイールズ)による選考。1980年に発売された世界の新型車のなかでのNo.1。

## 日本機械学会賞・機械振興協会賞

シンプルな機構で低燃費。ファミリアに搭載したマツダ独自の安定燃焼方式レシプロエンジンが、その技術の高さを証明。

## ヨーロッパ・カー・オブ・ザ・イヤー

ヨーロッパ16ヵ国の自動車ジャーナリストが選ぶ世界の名車の登龍門。日本車中第1位、総合でも4位の高い評価を獲得。

## 2年連続・国産車人気投票第1位

月刊自家用車誌(日本)主催。激戦地帯のポピュラーカークラスで、1980年・81年連続読者人気投票第1位の栄冠に。

## '81年FF車日本第1位

約20車種にものぼる国内FF乗用車。その'81年販売実績で第1位の座に(第2位)。FFベストセラーとしての地位を確立した。

## 全米読者投票第1位

アメリカの著名な自動車専門誌(カー・アンド・ドライバー)の読者投票で「1981年の輸入車中、最重要車。」として第1位。

## クルマ大賞最優秀賞

第5回ビットイン誌(日本)主催。読者投票と審査員による選考を経て、ファミリアサルーンが全国産車のグランプリ受賞。

## '82年モンテカルロラリー・クラス優勝

初参加でクラス優勝と同2位を獲得(第3位)。約4,000kmにわたって、シャープな操縦性と強靱な耐久性を実証した。



ブルーのサインが足跡です  
あなたの街のマツダ